

ケアプラン相談センター活動報告

～アンケート調査とエルザお話しサロン～

芦別慈恵園ケアプラン相談センター
介護支援専門員 藤山 勇人

平成30年度の活動

- ・聞き取りアンケート調査
- ・エルザお話しサロン

聞き取りアンケート調査

目的

- ・高齢者世帯を含む地域の方が生活の中での困り事や相談したいことはどのようなことなのか。
- ・介護サービスで対応できないような要望がある場合には、新しいサービスを作る必要があるのか。
- ・どのような方がどんなことに困っているか、何が必要なのかなど、数字から読み取れる状態や状況を知る。

今後の芦別慈恵園の事業に
役立てたいと思い実施！

アンケート実施地域

7月 西芦別青葉団地
(147世帯/人口約250人)

11月 新城町内会地区
(106世帯/人口約220人)

アンケート調査方法

- ・ケアマネ4人で全世帯を訪問し聞き取る。
- ・期間は、2日間から1か月。
※西芦別地区は2日間、新城地区は1か月

調査内容について（１）

◎世帯構成など

- ・年齢、性別
- ・家族構成（単身、夫婦、子や親と同居の有無）

◎健康面について

- ・現在の体調
- ・受診先（市内、市外）
- ・受診している科
- ・通院時の交通手段
- ・服薬について

調査内容について（２）

◎日常生活について

- ・活動参加
- ・困りごとの相談相手の有無、その相手
- ・困りごとの内容（家事、買物、調理、外出、その他）
- ・将来不安なこと

◎介護保険について

- ・介護保険の理解（聞いたことがあるか、誰か利用しているか、利用してみたいか）

西芦別青葉団地地区

- ・訪問した世帯 94世帯
- ・アンケート実施 62件
（実施率66%）

昔、炭鉱で栄えた町であり、その時の名残で古い団地が多い。取り壊しの対象になっている団地もあり、転居などで空き団地も多い。



西芦別青葉団地のアンケート調査の結果

- ・60代～80代の夫婦で元気に生活している世帯が多い。
- ・困り事があれば町内の役員、民生委員を頼りにしている方が多い。
- ・共同浴場を利用している方が多く、そこがサロンのように機能しており、寄り合いの場となっている。
- ・共同浴場の湯舟が縮小され、奥の湯舟が残り、とても滑りやすい床を歩かなくてはならず不便になった。
- ・受診は、市内医療機関に受診する方が多く、バスで通院しているが、バス停までの距離が長く、また坂道にもなっており大変になってきている。

新城町内会

- ・訪問した世帯 89世帯
- ・アンケート実施 67件
（実施率 約75%）

農村地帯。かなり広範囲の地域で、見渡す限り畑が多いです。

隣家までの距離が長い。



新城地区のアンケート調査の結果

- ・夫婦二人、子と同居している世帯が多い。
- ・病院受診は、市立病院以外に距離的に旭川に行く方も多かった。
- ・町内会の活動や老人クラブなど、活動に参加している方が多い。（調査対象者の半数以上）
- ・バスのダイヤが少なく、買物や通院が不便。それに、バス停まで行くのにかなり距離があり、そこまで歩けないという方もいた。
- ・自家用車を運転している方もいるが、いつまで運転できるか不安を抱えている。

今年度のアンケート調査のまとめ

- ・市内への買物や通院などのための交通手段が暮らしていくための一つの目安になっている。
- ・相談したいが、どこに相談してよいかわからない、ちょうど困っていた、市役所まで相談に行くのが大変ということで調査時に介護認定を申請し、サービス利用に繋がった方もいた。
- ・高齢化が進み、地域から人が減り、過疎化が進んでいるが、どんなに不便でも住み慣れた地域や人と生活したいという気持ちが強く伝わってきた。

今後の課題…

- ・困っているということについて具体的にどのように対応していくか。
- ・社会資源の活用や開発も介護支援専門員の役割の一つであり、必要であれば専門職として、または事業所として介入していくことも資源ではないか。

例：乗合タクシーや免許返納後に
タクシーチケットを交付するなど…

エルザお話しサロン

はじめは・・・

市民の相談窓口として

エルザ介護相談という名称から
平成29年11月よりスタート
しました。

市民相談窓口
エルザ介護相談
とても困っています

なんとなく不安...
部屋が片づけられない
忘れっぽくなってきた
転ぶことが多くなった
わんしたまケアママがお持ちしています！

お気軽にご相談ください！
無料です！ 場所 キャッチハウスエルザ

社会福祉法人 芦別慈恵園 ケアプラン相談センター 0124-24-2200
毎月の相談日 第2金曜 時間 13:00~16:00

開催前は…



チラシも配布したから、
何人来てくれるだろう？

結果...1名だけの参加でした。

そこで…

エルザ介護相談



エルザお話しサロンに変更



今年度は20名の方が来ていただきました。
(複数回来ている方が多いです)

相談者

- 担当しているお客様やその友人
- 担当者しているお客様のご家族

相談内容

- 普段の生活や介護のこと。
- 参加者同士の雑談

参加者からの声

日頃の介護の不満を話すことができ、スッキリした！！ また、頑張れる！！	みんなと一緒にコーヒーを飲んだり、食事をして若くなった気分です！
今はまだ利用していないが、利用したい時、相談できる人に会え、繋がりができて本当によかった！	日頃の介護のことを介護者同士で本音で話をできてよかった。

相談の場でもあり、憩いの場！！

今年度の活動を通して・・・

- 相談の場が必要であり、困っている人や困ったことが地域に存在している。
- エルザお話しサロンが相談の場、憩いの場として定着してきた。

ケアマネジャーからの提案

- お話サロンでは、さらにお客様の口コミやかわら版でPRをしていき、裾野を広げていきたい。
- 他の地域でもアンケート調査を実施し、新たな地域での相談所やサロンを開催できないか、企画していきたい。

ご清聴ありがとうございました。